

放射性物質、市の現状と今後の取り組み

東日本大震災の発生から1年以上が経過しました。市では、市民の皆さんの安全・安心の観点から、全市立保育園・学校、道路側溝、その他施設等の放射性物質の測定・除染などの対応を実施してきました。昨年度の取り組み状況と、除染等を行った施設などの再測定の結果、大気中の定点モニタリング、今年度の取り組みについてお知らせします。詳細は、市ホームページで確認することができます。

環境保全課 224-5894

平成23年度の取り組み状況

市では昨年6月と8月に、大気中放射線量の状況を把握するため、市内を5km四方に区切り、その中の公共施設等14地点の放射線量を測定しました。そして、市内全域が低いレベルであることを確認し、その後のモニタリングも実施しています（測定方法は5ページ上段参照）。

その後、市独自の対応の目安を定め、保育園・学校・公園など子どもの生活空間で、雨どいの下や側溝・雨水ますなど雨水により放射性物質が集まりやすい場所を中心に、合わせて1171の施設など1万以上の地点（3ページ図）で、詳細に放射線量の測定および対応をしました。また、市民の皆さんが利用する公民館などの施設や、道路・雨水ますなども同様に調査しました。昨年度実施した測定

の結果は、下表の通りです。

これまでに行なった測定では、雨どいの下などがあまり近づかない場所と比較的高い値が出ましたが、市民の皆さんが日常生活する場所は、問題のない状況です。高い値が出た全ての地点で泥の除去などの対応をしました。現在、その後の状況の確認を進めています（4ページ参照）。

また、市民の皆さんから要望のあった放射線測定器の貸し出しも始めました。

その他、水道水・学校等のプールの水・土壌・ごみ処理施設の焼却灰などの放射能測定、放射性物質を含む稲わらを与えた可能性のある牛肉・市内から出荷している茶への対応・給食食材の産地公表や放射能検査などを行っています。

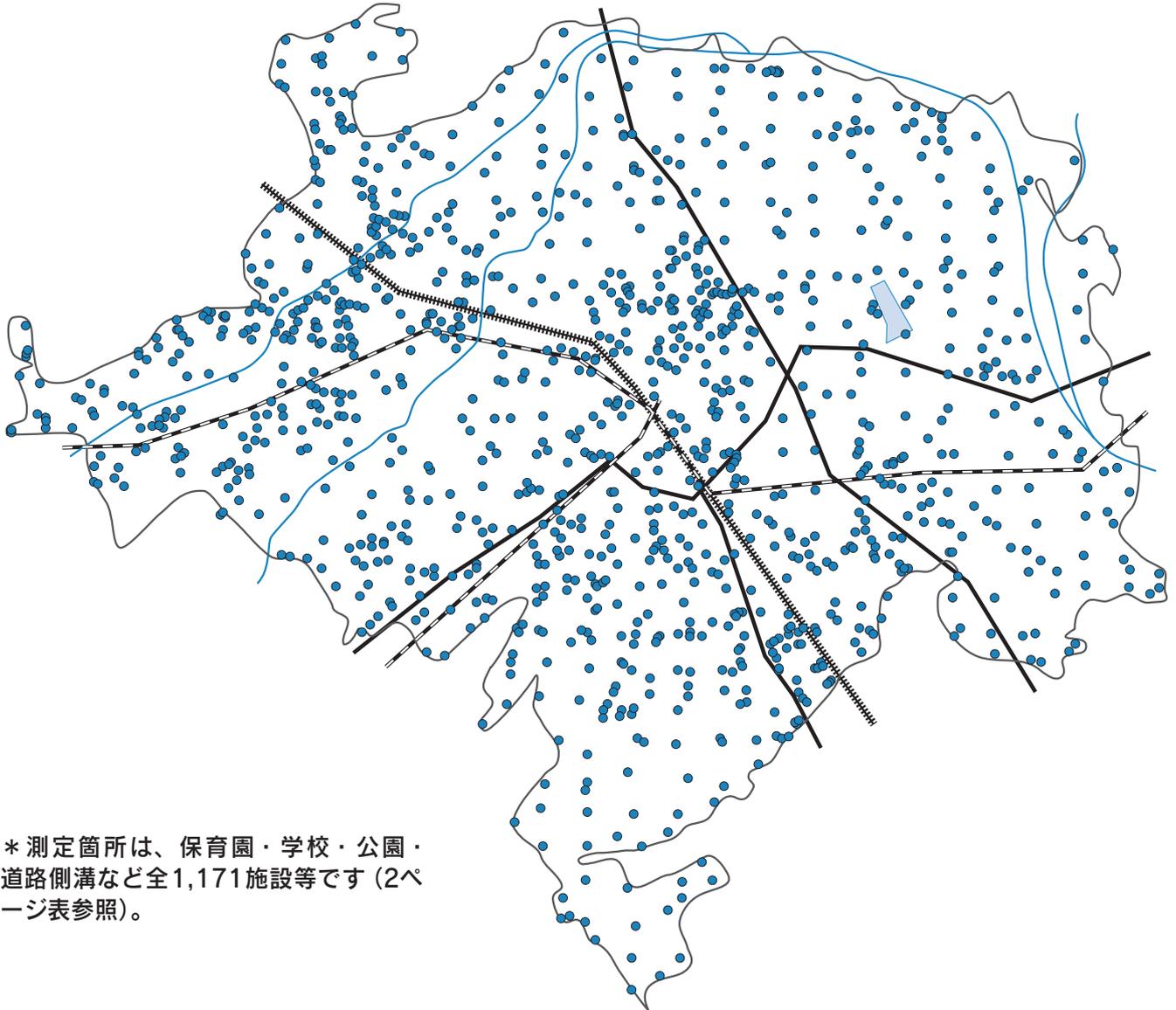
平成23年度測定結果

（除染は、対応の目安を超えた地点または目安以下で近い値の地点で実施しました）

測定施設等	測定・対応期間	施設等の数	地点数	目安超過数	除染数
市立保育園等	10月18日 ～11月16日	21	492	14	14
市立小学校	10月11日 ～11月18日	32	1,506	132	170
市立中学校	11月14日 ～11月30日	22	1,320	123	168
市立高校・特別支援学校	11月24日 ～11月30日	2	95	15	19
大規模公園	10月18日 ～12月7日	16	617	8	14
小規模都市公園	11月17日 ～12月21日	256	2,795	12	18
児童遊園等	11月17日 ～12月20日	163	2,090	0	0
市民の森	12月5日	8	79	0	0
雨水調整池	12月6日	3	17	0	0
その他の公共施設	12月14日 ～平成24年2月8日	77	1,606	67	104
私立幼稚園	12月7日 ～12月12日	12	242	2	2
認可保育園	12月1日 ～12月8日	18	424	13	13
道路側溝(ごみゼロ運動関連)	10月12日 ～11月4日	128	128	11	18
道路側溝・雨水ます等 *	平成24年3月6日 ～3月22日	413	413	0	0
合計		1,171	11,824	397	540

*道路側溝・雨水ます等の放射線量の測定は、3ページ参照。

平成23年度に放射線量を測定した施設等の分布図



*測定箇所は、保育園・学校・公園・道路側溝など全1,171施設等です(2ページ表参照)。

道路側溝・雨水ます等の放射線量を測定しました

道路環境整備課 ☎224-6029
下水維持課 ☎239-5595

市内全域の道路の路面や雨水ますの上を中心に、放射線量の測定を行いました。

測定時期

3月6日～22日

測定箇所

通行人への影響を確認するため、市内を413区域(約500m×約600m)に分け、それぞれの区域内の1地点(道路面・雨水ます等)について、地上50cmおよび5cmの放射線量を測定しました。

測定機器

環境放射線モニターPA-1000Radi(シンチレーション式)

結果

地上50cm

0.04～0.13 μ Sv/hの範囲

地上5cm

0.04～0.24 μ Sv/hの範囲

すべての地点で、市の定めた対応の目安(50cm=0.23 μ Sv/h、5cm=0.30 μ Sv/h)以下で、問題のない値でした。



昨年10月から12月までに、子どもの生活空間を中心に保育園・学校・公園・道路等の放射線量詳細測定と対応を行ったところ、89施設で対応の目安を超える値が検出され、除染等の対応を行いました。対応から2～3か月が経過し、昨年除染をした地点のその後の状況を把握するため、地上50cmおよび5cmの放射線量を再度測定しました。

測定時期
2月20日～3月14日

測定箇所

前回除染を行った保育園(14地点)・公園(32地点)・道路側溝等(18地点)は全除染地点を測定しました。学校は除染を行った地点が357地点と多いため、各学校の除染前測



①除染地点の継続測定結果

(単位：μSv/h)

測定施設	測定施設数	測定地点数	超過地点数	除染地点数	地上50cm		地上5cm	
					変化量	最大値	変化量	最大値
市立保育園等	4	14	0	0	-0.01	0.12	-0.01	0.18
市立小学校	30	58	0	0	-0.01	0.13	-0.01	0.25
市立中学・高校等	24	49	0	2	-0.01	0.16	-0.01	0.28
市立公園	13	32	1	1	0.00	0.13	0.01	0.35
道路側溝等	18	18	0	0	-	0.12	-	0.15

*変化量は、昨年10月から12月までに測定した平均値と、今回2月から3月までに測定した平均値の差です。

定値の上位2地点を中心に107地点を代表して測定しました(表①)。市が設定した対応の目安(地上50cm || 0・23 μSv/h、地上5cm || 0・30 μSv/h)を超える地点また

除染した場所で、再度数値が高くなった要因は：放射性セシウムの数値は、昨年3月下旬の雨で上昇し、その後も微量が検出される日がありました。しかし、8月以降は雨が降っても検出されていません。

大きな変化はありませんでしたが、地上5cmで対応の目安を超えたり近い値が出た地点が3地点あったため、対応しました(表②)。さらにその中の学校については追加測定し、地上50cmでは0・08～0・12 μSv/hの範囲、地上5cmでは0・11～0・22 μSv/hの範囲で、問題ない値でした。

結果
環境放射線モニターPA・1000Radi(シンチレーション式)

は目安以下で近い値があった学校は、念のため次に高い2地点を追加測定しました。

②再度除染した地点の状況

(単位：μSv/h)

施設名	地点名	測定時点	地上50cm	地上5cm
城下公園	管理棟裏雨どい下3	前回・除染前	0.14	0.48
		前回・除染後	0.12	0.15
		今回	0.13	0.35
		今回・除染後	0.10	0.17
市立大東西中学校	自転車置き場の雨どい下の砂利	前回・除染前	0.15	0.40
		前回・除染後	0.12	0.16
		今回	0.11	0.28
		今回・除染後	0.10	0.15
市立川越高校	トレーニング室裏・雨どい下(土)	前回・除染前	0.22	1.07
		前回・除染後	0.09	0.16
		今回	0.16	0.28
		今回・除染後	0.08	0.13

また、数値の上昇があまり大きいことなどから、対応の目安を超えた地点は、雨どいの中などにたまって少量の放射性物質が雨で流れ落ちたものと考えられます。なお大部分の地点では、前回の除染後と同程度またはそれ以下の値でした。

大気中放射線量の定点モニタリング

昨年6月と8月に市域を5 km四方に区切り、その中の公共施設など各2施設、計14地点(左下図)を定点と定め、大気中放射線量の測定を行いました。その後は、県が測定している降下物中放射能などの推移を確認してきました。

前回の測定から半年が経過したこと、その後の状況を把握するため、各地点の放射線量の測定を行いました。

測定時期

2月16日～17日

測定箇所

昨年8月に測定した所と同じ14施設(学校の場合は校庭)の中央で測定。

測定機器

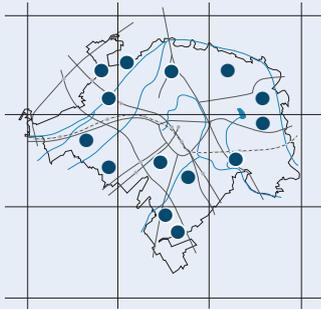
NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ
TCS-172B

結果

地上50 cm : 0.05～0.09 μ Sv/hの範囲(前回)

0.05～0.09 μ Sv/h
地上5 cm : 0.05～0.09 μ Sv/hの範囲(前回)

いずれの地点も前回とほぼ同じ放射線量で、低い値でした。また、放射性物質汚染対処特措法における地上50 cm～1 mの基準(0.23 μ Sv/h。市の対応の目安も同じ値)および市の地上5 cmの対応の目安(0.30 μ Sv/h)よりも低く、問題ない値でした。
*降下物中の放射性物質(放射能)は、県が毎日測定・公表しています。昨年8月以降、不検出の状況が続いています。



今後の取り組み

市では放射性物質に関して、昨年は大気中放射線量の状況を重点的に測定しました。今年度は、これまで対応した地点を継続して監視するとともに、食の安全・安心の観点から、放射能検査を進めます。また、状況の変化に適切に対応します。

■保育園・学校などの施設等の放射線量継続測定

これまで測定した地点のうち除染を行った地点で、3か月または6か月後に放射線量の測定を行い、必要に応じて対応します。また、その後も継続して測定・監視します。

■大気中放射線量定点モニタリング

市内の定点14地点(上記図参照)で、半年に1回(8月・2月)放射線量を測定します。8月には、土壌中放射能の測定も行います。

*県では、モニタリングポストを県内6箇所(近隣では、狭山保健所)に設置し、大気中の放射線量を測定しています。データは文部科学省ホームページで確認できます。

■学校・保育園の給食で使用する食材などの放射能検査

学校給食：学校給食に対する安全確保と保護者等への不安解消に配慮するため、昨年度は検査機関に依頼して、12月から2回の検査を実施しました。今年度は、購入した放射能測定器を活用し、給食に使用する食材2品目程度および給食1



食分の放射能を毎日検査します。また、国の新基準よりさらに厳しい50 Bq/kgを

市の基準とし、超える値が出た食材は、学校給食への使用を控えます。

保育園給食：保育園ごとに、1週間分の給食を混合したものおよび使用する食材の放射能を検査します。

■放射線測定器の貸し出し

引き続き実施します。

■水道の放射能検査

受水場・浄水場から配水する水道水の放射能検査を、施設ごとに月1回実施します。

■市内流通品の放射能検査

市内に流通する野菜などを毎月検査・監視します。

■ごみゼロ運動に伴う道路側溝等清掃作業への対応

事前に作業場所の放射線量を確認するため、作業を行う自治会に放射線測定器を貸し出します。

■ごみ処理施設の放射能等測定

引き続き、資源化センター・東清掃センターおよび小畔の里クリーンセンターの焼却灰・排ガス・排水等の放射能を毎月、また、敷地境界の放射線量を毎週測定します。

放射線測定器の貸し出しを行っています

環境保全課 ☎224-5894

貸し出しは、1家庭または1グループにつき1台です。当日の貸出時間中に返却してください。借用・使用・返却の手続きは、申込者本人が行ってください。貸し出しの際、身分を証明する運転免許証や保険証などが必要です。使用は市内に限ります。申込者本人以外の方が管理する土地・建物を測定する場合は、事前に承諾を得てから行ってください。



貸出機器…環境放射線モニターPA-1000Radi (シンチレーション式)
貸出時間…午前9時～午後4時30分
貸出・返却場所…平日＝環境保全課(本庁舎5階)
 ▶土・日曜日、祝・休日＝当直室(本庁舎地下1階)
対象…市内在住の成人、市内の事業所・団体
貸出台数…1日当たり先着13台
申し込み…事前に電話で環境保全課

「川越城が知りたい！」を刊行しました

市立博物館 ☎222-5399

「川越城のことをまとめた本はありませんか？」の声に応え、「川越城が知りたい！—川越城本丸御殿保存修理工事の概要—」を刊行しました。

川越城に関する歴史や発掘調査の成果を、写真を交えて紹介した32ページの川越城総合案内書で、全ページカラーです。また、平成20年度から実施した川越城本丸御殿保存修理工事の際の、瓦を剥がし屋根の骨組みだけになった姿や、建物のゆがみを直したときの様子などを、写真とともに解説しています。

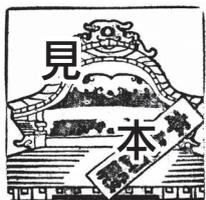
川越城についてこれから学びたい方、もっと知りたい方、城好きの方にお薦めです！

頒布場所…川越城本丸御殿・市立博物館
頒布価格…500円

-
- 目次 1 川越城をとくまく歴史
 - 2 川越城を分析する
 - 3 川越城本丸御殿保存修理工事
 - 4 本丸御殿の見どころ
 - 5 川越城本丸御殿のデータ



「日本100名城」写真展開催中



スタンプは、本丸御殿で常時押すことができます。

市立博物館では、日本100名城を写真で紹介しています。また川越城本丸御殿では、「日本100名城スタンプ集」を展示(いずれも要入館料)。100個のスタンプを一気に見ることができる、またとないチャンスです！

日時…7月1日(日)まで、午前9時～午後5時(入館は午後4時30分)

市立博物館
川越城本丸御殿

休館日

月曜日、第4金曜日
 * 博物館は、6月18日(月)～25日(月)の間、館内消毒のため臨時休館します。